

日向市議会だより

陽だまり

2016
(平成28年)
10月28日発行 9
NO.146

27年度
決 算

実質を伴う

選択と集中を!!



編集
議会広報特別委員会

お問い合わせは

日向市議会事務局
〒883-8555 日向市本町10番5号
TEL: 52-8348 FAX: 52-8148
E-mail: gikai@hyugacity.jp

- 27年度決算 P2
- 9月定例会議案 P4
- いっぽん質問 P8
- 議会報告会のお知らせ... P16

日向市議会

検索



27年度 決算

歳出総額309億1,095万6千円
財政指標「微」改善！



完成した日向中校舎

*PDCAサイクルの意味
Plan(計画)・Do(実行)・Check(評価)・Action(改善)を1サイクルとして、継続的に改革していくことです。

審査の中で、成果説明書の成果指標について、「事業の*PDCAサイクルをしつかり考え、4年ごとの総合計画の中で何が目標で、何を指標とし、何を成績とするのか、もつと明確にすべきではない」という言葉を幾度も聞かされた。各課が独自に対応している債権の取り扱いや不納欠

「全庁的」な取り組みを

消防本部所管の審査の中で、直近に発生した台風16号の豪雨被害を踏まえ、総合的な消防力に関する質疑があつた。これに対し、「資材は標準的に装備できているものの、マンパワーが大きく不足しており、救急隊は3隊編成が基準のところ2隊で運用。台風時の対応でも南部・東郷分遣署への救急車配備の必要性を痛感した」など

の答弁があつた。これらを受け、委員会としては次のことを行った。「平時はもちろん、災害発生時でも市民の安全、安

防本部所管の審査の中で、直近に発生した台風16号の豪雨被害を踏まえ、総合的な消防力に関する質疑があつた。これに対し、「資材は標準的に装備できているものの、マンパワーが大きく不足しており、救急隊は3隊編成が基準のところ2隊で運用。台風時の対応でも南部・東郷分遣署への救急車配備の必要性を痛感した」など



文教福祉環境委員会

急がれる

防災・消防力強化

青果市場への対応急務

27年度決算のあらまし

定例会議案の採決が行われた9月16日、追加して平成27年度決算（議案1件、認定15件）の提案を受けた。9日間の議案熟読の後、26日の本会議で大綱的な質疑を行い、27日までの2日間決算関係資料を閲覧し、決算、公営住宅事業特別会計歳入歳出決算など認定11件の合わせて12件を全員一致で可決及び認定した。

31年度のゼロをめざして進める」との答弁があつた。

平成27年度の普通会計歳出総額は、309億1千56千円で、昨年とほぼ同規模。財政指標は、わずかに改善。健全化判断比率は4つの基準に照らしていくれば問題はない。しかし、合併特例期間の終了による交付税の減額、総額55億とされる市庁舎建設費、公共施設の維持管理費・社会保障給付費等財政需要の増を踏まえ、歳入面で一般財源の確保に全力を挙げることはもちろん、歳出面でも不要不急の事業の洗い出し、改廃に努め、実質を伴う「選択と集中」の取組みが求められる。

東郷地区に内陸型の工業団地を造成



農業畜産課所管の薬草の里づくり事業についての質疑に対し、「現在、12品目に取り組んでいるが、その用途はさまざまで、料理、薬膳や健康食品、医薬品等がある。今後、2、3品目は健康

長いスパンで

審査の中で、成果説明書の成果指標について、「事業の*PDCAサイクルをしつかり考え、4年ごとの総合計画の中で何が目標で、何を指標とし、何を成績とするのか、もつと明確にすべきではない」という言葉を幾度も聞かされた。各課が独自に対応している債権の取り扱いや不納欠

は、また、学校給食センター建設費や環境政策課の経費削減実績など、努力によって達成できた事項については、もつと積極的にアピールすべきだ」など



産業建設水道委員会

審査の中で、成果説明書の成果指標について、「事業の*PDCAサイクルをしつかり考え、4年ごとの総合計画の中で何が目標で、何を指標とし、何を成績とするのか、もつと明確にすべきではない」という言葉を幾度も聞かされた。各課が独自に対応している債権の取り扱いや不納欠

か。また、学校給食センター建設費や環境政策課の経費削減実績など、努力によって達成

できた事項については、もつと積極的にアピールすべきだ」など

の意見が出された。

財政課所管では、合併特例債について、「27年度末残高が50億9200万円。このうち45億円程度を市庁舎建設に充てるので、残り4、5億円程度を他の整備工事等に充てて

いる」などの答弁があつた。また、第3セクター「日向青果地方卸売市場」への対応について質疑があり、「既に外部委員から報告書

え、「成果指標について、内部で設定した指標を外部の視点で見ると、費用対効果が低い事業があるのではないか、また、同じ課の中で似通った事業があるが、整理統合すべきである」との答弁があつた。

は」との意見もあり、委員会として、次のことを付言し、適切な対応を求めた。「各事業のその費用対効果を、その必要性も含めて見直し、再編すべきところは再編すること」



日向青果地方卸売市場

商工港湾課所管の企業誘致推進事業及び北部九州関連企業誘致促進事業についての質疑に対し、「ITベンチや企業等の誘致や細島港を核とした物流の

検討、次世代産業育成事業、北部九州関連の企業等の誘致も考えており、細島4区は、残りが24ヘクタールであり、今後は、細島港の改定計画で18号岸壁の

後背地に24・5ヘクタールを造成する予定であるが、長いスパンで考える必要があり、東郷地区に内陸型の工業団地を造成する必要がある」との答弁があつた。

9月定例会

28年度 9月補正 予算

可
決

一般会計1億1857万円 安心・安全の充実に



サンドーム日向内部の仕切りネット

普段の改修で経費削減を

高齢者あんしん課所管では、地域包括ケア推進事業費について、財光寺地域包括支援センターのモデル事業は評価できるが、市内6か所ある包括のレベルが同じように上がつていかなければいけないとの質疑に対しても、「県の基金を使ったモデル事業に積極的に手を挙げる。各包括とも人員不足の状態であり、

前定期的に取り替えるべき可能性もあるため、今後検討し取り組む」との答弁があつた。



東郷病院

6次化でブランド確立

スポーツ振興課所管では、サンドーム日向屋内外体育施設仕切りネット改修工事について、経年劣化により改修を行うという事例だが、普段からチエックして早めの対応をしていけば費用が安く済むのではとの質疑に対して、「悪くなる前に定期的に取り替えるべき」との答弁があつた。

6次化でブランド確立

ブランド推進課所管の日向地域のブランド確立推進事業の6次化産地育成事業について、「その商品のパッケージデザインやホー



金ヶ浜



文教福祉環境委員会

地域包括ケアの標準化を

小児科設置へ条例化

今年度から人員を増やすための委託料の増額を行つた。今年度中にすべての包括で地域ケア会議を立ち上げる予定」との答弁があつた。

賛否が分かれた議案と結果

(左記の議案以外は、全員一致で可決)

議員名	畠原幸裕	松葉進一	森腰英信	若杉盛二	友石司	治修司	谷口高広	黒木喜喜	近藤勝久	日高和広	三樹喜久代	富井寿一	海野萬治	荻原紘彦	甲斐敏彦	岩切裕	木田吉孝	溝口和	柏田公和	西村豪武	結果
議案名																					
議員提出議案第1号 TPP協定を国会で批准しないことを求める意見書（案）	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●	○	○	○	否決
認定第1号 平成27年度日向市一般会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	認定
認定第10号 平成27年度日向市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	認定
認定第11号 平成27年度日向市介護保険事業特別会計（保険事業勘定）歳入歳出決算	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	認定
認定第13号 平成27年度日向市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	認定

○は賛成、●は反対。議員名は左から議席順。畠原幸裕議員は、議長職のため、通常は表決権はありません。

議員提出議案に対する賛否の討論

議員提出議案 第1号

反対

農林水産省ホームページで、交渉は国会決議を後ろ盾に粘り強く主張し、実を取ったものとある。

また、今国会で強い農林水産業施策として概算要求を行っている。我が国は輸出入均衡のとれた国際協調と信頼から成っている。

【甲斐敏彦議員】

議員提出議案 第1号

賛成

国会決議を無視し合意したTPP協定。農業団体も反対。また、知事会、市長会も懸念を表明する

中、本市議会ではTPPに反対の意見書を全会一致で可決している。最後まで意思を貫くべきとの立場で賛成討論とする。

【溝口孝議員】

議員提出議案 第1号

賛成

安倍政権が前国会にTPPの承認案を提出したが、交渉経過について

では黒塗りの資料だった。農林業や地方経済への影響、遺伝子組み換え食品の拡大、医薬品価格や労働条件の悪化など、国民生活のあらゆる分野を破壊する。

【日本共産党市議団】

※討論は、採決の前に許されている賛否の意見表明です。意見を戦わせる討議ではありません。討論者が要旨を100字以内でまとめたものです。

決算認定に対する賛否の討論

認定 第1号

反対

当市議団が市政に反映させてきた市民の要求も活かされている。しかし市民の税負担を軽くするために、もうけをあげている大資本、高額所得者への優遇を改め、それ相当の負担をしてもらうよう是正することが必要だ。

認定 第10号

反対

国民健康保険法は国民の疾病などに関し必要な保険給付を行うこと、そのための国・県の義務もうたっている。相互扶助の立場ではない。国保税を納められない問題を打開するため国の責任を果たせることが重要だ。

認定 第11号

反対

安倍政権は個々の給付の切り下げにとどまらず「要支援者」を保険給付の枠外に追い出し、「軽度者（要介護1・2）」を特養老人ホームの対象外とするなど重大な制度改悪を強行している。改悪を直にやめ是正すべきだ。

認定 第13号

反対

収入が少ない一方で医療費がかさむ後期高齢者の独立保険というのは基盤の弱いしくみであることは明らかである。今日、後期高齢者被保険者の負担軽減のための保険料「特例軽減」制度を廃止することは許されない。

(以上、いずれも日本共産党市議団)

教育長ほか人事案件6件 全員一致で同意

9月議会では教育長ほか、教育委員会委員（1名）、人権擁護委員（4名）の合わせて6件の人事案件の提案があり、全員協議会を開いて質疑の後、採決の結果、いずれも全員一致で同意しました。

□ 教育長 今村卓也さん（新任）
昭和54年宮崎県教育委員会教職員採用。宮崎県教育厅教育研修センター専門主幹からの就任。

□ 教育委員会委員 安藤公一さん（再任2期目・日向商工会議所副会頭）
（再任2期目・日向警察署協議会委員）

□ 人権擁護委員 佐藤欣一さん（新任・元市立財光寺南小学校校長）
（新任・元市図書館ボランティア友の会会長）
（新任・元市図書館ボランティア友の会会長）
（新任・元市図書館ボランティア友の会会長）
（新任・元市図書館ボランティア友の会会長）

□ 人権擁護委員 岡田いずみさん（再任・元市図書館ボランティア友の会会長）
児玉絹代さん（新任・元市図書館ボランティア友の会会長）
（新任・元市図書館ボランティア友の会会長）
（新任・元市図書館ボランティア友の会会長）
（新任・元市図書館ボランティア友の会会長）

なぜ議会の同意が必要なの？

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条により、長が議会の意見を聞いて法務大臣に推薦し、同大臣が委嘱します。また、人権擁護委員は、人権擁護委員法第6条により、長が議会の同意を得て任命します。

議会報告会の課題に 対応しています

議会では、昨年度の

報告会終了後、その後の議会の対応をきちんと報告することにしました。所管する委員会が重要なと判断した課題については、議会閉会中に継続して審査を行い、その結果を本会議で報告することになりました。この確認を踏まえ、一番の課題は議会基本条例の制定です。同条例はちょうど10年前の5月、北海道の栗山町議会で制定されたのが

報告会終了後、その後の議会の対応をきちんと報告することにしました。所管する委員会が重要なと判断した課題については、議会閉会中に継続して審査を行い、その結果を本会議で報告することになりました。この確認を踏まえ、一番の課題は議会基本条例の制定です。同条例はちょうど10年前の5月、北海道の栗山町議会で制定されたのが

（ぶらつとバス、乗り合いバス）の課題」と、「東郷、南分遣署に寺迫地区の課題として、東児湯消防との連携の可能性」。文教福祉環境委員会は、「ソラーパネルの設置に伴う自然環境への影響」、「子育て支援（子どもの遊び等の現状）」の2項目。産業建設水道委員会は、市道の整備、観光資源、

中小企業振興など7項目の課題について調査を行い、全24項目について報告しています。いずれも、現状を認識し、必要な対応を当局に求めました。



昨年の議会報告会

（ぶらつとバス、乗り合いバス）の課題」と、「東郷、南分遣署に寺迫地区の課題として、東児湯消防との連携の可能性」。文教福祉環境委員会は、「ソラーパネルの設置に伴う自然環境への影響」、「子育て支援（子どもの遊び等の現状）」の2項目。産業建設水道委員会は、市道の整備、観光資源、

中小企業振興など7項目の課題について調査を行い、全24項目について報告しています。いずれも、現状を認識し、必要な対応を当局に求めました。



議会改革特別委員会

（ぶらつとバス、乗り合いバス）の課題」と、「東郷、南分遣署に寺迫地区の課題として、東児湯消防との連携の可能性」。文教福祉環境委員会は、「ソラーパネルの設置に伴う自然環境への影響」、「子育て支援（子どもの遊び等の現状）」の2項目。産業建設水道委員会は、市道の整備、観光資源、

中小企業振興など7項目の課題について調査を行い、全24項目について報告しています。いずれも、現状を認識し、必要な対応を当局に求めました。

子

ども医療費無料化への
国の減額調整額はいくらか

黒木万治 議員

答

平成26年度は1,700万円
平成27年度は1,740万円

子どもの医療費
無料化について

子ども医療
費助成を行う自治体
に、国庫負担金の減額
措置が続いている。地

方6団体も廃止を求め
ているが、現時点での
対応は。

市長 厚労省として
は、平成29年度からの
国庫負担金の減額調整
の見直しを念頭に、年
末までの予算編成過程
において調整する方針
のようだ。

市長 安倍内閣の補
正予算案について「一
億総活躍社会」の実現
と称して7119億円
を計上しているが、子

市長 今回の補正で
は、経済成長への投資
を図るインフラ整備等
が優先されている。子
育て、介護などの環境
整備は一部盛り込まれ
たものの、人材確保な
どは、平成29年度当初
予算で措置するとされ
ている。

市長 医療・介護改悪を
許さない市政を

黒木 要支援1、2
の介護予防サービス利
用者を国の介護保険制

育て、介護などの切実
な願いには程遠い内容
だ。肝心の保育士、介
護人材確保のための給
与引き上げが盛り込ま
れていないが。

度から縮め出して、自
治体の総合事業に移す
介護保険制度改悪の移
行期限が来年4月に迫
っている。本市の対応
を示せ。



市長 本市では、平
成28年3月1日から同

事業に移行し、総合事
業及び要支援1、2の
利用対象者もこれまで
同様の訪問介護・通所
している。今後は利用
者のニーズを的確にと
らえ、より必要なサ
ービスが提供できるよう
に、さらに充実した事
業の展開を進めてまい
りたい。

食

答 積極的な取組みの推進を
考えている

市長 食品ロス削減
に向けての取組みが重
要であると考えるが。



市長 先月から「宮
崎県4R推進協議会」
が「食べきり協力店」
や「食べきり家庭応援
店」の募集をするなど
の啓発事業に取り組み
始めた。今後とも市
民、事業者、行政が一
体となって、積極的な
取組みの推進を考え
いる。



残さず食べましょう

市長 備蓄食品は消
費期限到達による廃棄
処分が課題となつてい
る。フードバンク等へ
の寄付は一つの有効活
用の手段と考えられ
る。日向市社会福祉協
議会などのフードバン
ク運営事業者とも協議
していきたい。

市長 の展開も考えられるが
いかが。

市長 既に日向市社
会福祉協議会における
フードバンクや、民間
団体における居場所の
提供などの実績もある
ことから、「子ども食
堂」につながる地域資
源は、存在していると
認識している。

市長 れへの対策として、社
会における影響力を実
感できるような取組み
が必要ではないか。

市長 食品ロス削減
に向けての取組みが重
要であると考えるが。
市長 フードバンク
から、地域の力を活か
した「子ども食堂」へ
展開を



市内学校給食残食・スーパー等の生ごみ処理工場（財光寺）

び人事を行った理由
は何か。また、新たに
顧問を採用した理由を
伺う。

任

期付職員(産業集積・物流
担当理事)採用は

木田吉信 議員

答 企業誘致・細島港を活用
した物流対策を考えて配置



市長 本年4月以降
も、東九州自動車道の
北九州までの開通に伴
い、企業誘致及び細島
港を活用した物流対策
は重要と考え配置し
た。また、顧問につい
ては、社会的な人脈・
経験が必要なので引き
続きお願いした。

木田 採用された担
当理事の条例第2条第
1項の「組織内に得難
い高度の専門知識経験
又は優れた見識」とは
どのようなものか。

木田 日向市の一般
職の任期付職員に関す
る条例により、「組織
内では得難い高度の専
門的な知識経験を有す
る者」ということで、
産業集積・物流担当理
事を平成23年4月に採
用した。任期5年が終
了したにもかかわら
ず、同理事の採用及
こととした。

市長 高度化・多様
化する行政に対する市
民ニーズに的確に対応
できるよう、退職者の状
況も考慮して採用を行う
こととした。

木田 「生ごみ」の民
間収集と資源化につい
て、これまでの検討結果
と今後の予定を伺う。

市長 全体の費用対
効果を検証すると現時
点では困難である。今
後、調査研究をしていく。

木田 現業職員採用
について、これから現
業職員の採用根拠につ
いて

木田 新理事は、以
前「商工港湾課長」の経
験があるので採用した。



市民の憩いの場日向サンパーク太陽の丘

勢で臨みたい。少子高齢化、人口減少社会では身の丈に合った行政経営の視点が重要。投資的事業では、将来の人口構造を視野に入れ計画が必要。行政が果たす役割では、新行政改革大綱策定の中で、積極的に外部人材の専門的な知識を生かすため、外部人材の活

用も考えている。多様化、高度化する住民ニーズに迅速かつ柔軟に対応するには、民間活力導入や多様な任用形態の活用、事務事業の統廃合を含めて見直し、さらに適正な人員配置などの取組みが必要である。今後も行政改革の取組みを積極的に進めていく。

市長　眺望を確保する取組みなど検討したい。新駅開設は関係機関との協議の結果、初

西村　国道10号のロードパーク化とJR新駅開設等の進捗は、また、日向サンパークでの市民による記念樹植栽についてはどうか。

市長　就任前後の思いや信念に変化はない。厳しい財政状況の折り、今後もさらに選択と集中を徹底させ、創意工夫に知恵を絞り、さらに適正な人員配置などの取組みが必要である。今後も行政改革の取組みを積極的に進めていく。

西村　市長に就任して、初心は変わっていない。厳しい財政状況の下、特に義務的経費の圧縮が不可欠。「市政コスト削減」には、人件費等も聖域ではない。「人が変われば街が変わる」「やる気宣言」の決意の下、持論の企業経営感覚をどのように發揮するのか伺う。

全

市公園化構想等での十屋市政の目玉は何か

西村豪武 議員

答　日向サンパークで市民の植樹で緑化推進に取り組む

期建設費用の大部分が市の負担となり、非常に困難だ。花木植栽は、市民に花や緑化に興味や愛着をもつてもらえるよう取り組む。

市政の基本方針は

右　肩下がり社会の市政運営の基本的な認識は
岩切裕 議員

効果的、効率的、スピード感のある行財政運営が必要

岩切　「市民まちづくり支援事業補助金」のうち、所有権が生じるような「地域づくり整備事業」への助成は、法人格所有団体に限るべきではないか。また本来市の施策として行うべき事業もある

要登記物件への補助金は法人格を条件にしている。

部長　「地域づくり整備事業」は、「一般財団法人民間都市開発推進機構」の「住民参加型まちづくりファンド支援事業」の実施要領に基づき、本市の補助金交付要綱を策定している。個人、NPO等も対象となっている。

細　島駅跡地を活かした構想は

近藤勝久 議員

答　「みなどオアシス」の認定に向けて考えている

外国人観光客の誘致の考え方

近藤　県の「みやざきグローバル戦略」において、外国人観光客が増加傾向にある現状を踏まえ、インバウンドの誘致の考え方、そしてその手法について。



細島商業港地区

市長　商業港一帯の全体的な計画を検討し、段階的にハード整備していくか。



市長　中国天津市で開かれるアジア・中国クルーズ関係者向けの見本市に、県や関係自治体と参加し、本市観光の宣伝や商談を進めている。さらに、「日向市観光協会ホームページ」の多言語化に取

近藤　細島小学校の複合化はり組み、インバウンドの誘致促進につなげる。

市長　現在、府内の「公共施設マネジメント推進会議」のワーキンググループにおいて、複合化の可能性に関する担当者レベルの議論を進めている。今後、その方向性や建設場所の検討に際して、地域の意見を聞きながら取り組んでいく。

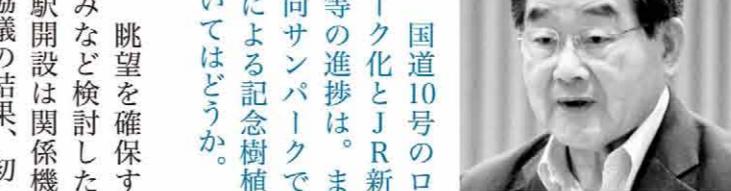
市長　人口、とりわけ生産年齢人口の減少による税収低下などが予想され、財政状況はますます厳しくなる。将来にわたり、質の高い公共サービスを提供していくためには、限られた経営資源を適正に活用し、より効果

岩切　新しいコミュニティ政策である「新しい地域コミュニティ組織制度事業」の推進に際しては、「自治体内分権」の視点が欠かせないとと思うがいかが。

「都市内分権」、「自治体内分権」の視点を



細島まちづくり協議会総会の風景



岩切　「市民まちづくり支援事業補助金」のうち、所有権が生じるような「地域づくり整備事業」への助成は、法人格所有団体に限るべきではないか。また本来市の施策として行うべき事業もある

岩切　「市民まちづくり支援事業補助金」のうち、所有権が生じるような「地域づくり整備事業」への助成は、法人格所有団体に限るべきではないか。また本来市の施策として行うべき事業もある

第3回

議会報告会を開催します



市議会では、平成26年度から議会改革の一環として、市民の皆さんに議会活動状況を報告し、ご意見やご要望をお聞かせいただく「議会報告会」を開催しています。今年度も、議員が4班に分かれて各地区を担当します。

皆さま、お誘いあわせのうえお越しください。

日 時	会 場	担当班	班名	班 員
11月7日（月）	細島公民館（細島支所）	4班	1班	荻原紘一、柏田公和、友石司、近藤勝久、木田吉信
11月8日（火）	曾根公民館	1班	2班	海野誓生、日高和広、若杉盛二、治田修司、黒木高広、黒木万治
	財光寺南まちづくり事務所	2班	3班	西村豪武、黒木金喜、森腰英信、谷口美春、溝口孝
	寺迫小学校講堂	3班	4班	甲斐敏彦、岩切裕、松葉進一、三樹喜久代、富井寿一
11月9日（水）	中央公民館	2班		
	日知屋公民館	3班		
11月10日（木）	農村交流館（塩見）	1班		
	大王谷コミュニティセンター	4班		
11月11日（金）	南日向コミュニティセンター	1班		
11月14日（月）	五十猛神社社務所	3班		
	東郷公民館（さくら館）	4班		
11月15日（火）	美々津老人福祉センター	2班		

※時間は全会場、午後7時から8時半までです。

※どの会場でも自由に参加できます。

※会場によっては、駐車場に限りがありますのでご了承ください。

■問い合わせ■

日向市議会事務局 (TEL52-8348)

決

まりました！新しい愛称

前回号で募集しました「ひゅうが市議会だより」の愛称募集に、9件の応募をいただきました。ご応募くださった皆さま、ありがとうございました。

議会広報特別委員会における審査の結果、「陽だまり」に決定し、今回号から採用しました。これからも市民の皆さんに手に取つていただける議会だよりを作成したいと思います。

お待ちしています！あなたのご意見

市民の皆さまからのご意見をお寄せいただくため、意見箱を設置しました。設置場所は、市役所市民課、細島支所、岩脇支所、美々津支所、東郷総合支所、中央公民館、日知屋公民館、大王谷公民館、さくら館、市立図書館です。

皆さまからのご意見をお待ちしています。

お詫びと訂正

平成28年7月28日発行の議会だより145号における甲斐敏彦議員の永年勤続表彰伝達式の記事中、甲斐議員の連續当選回数が「初当選以来連續6回」となつておりましたが、正しくは「7回」です。

お詫びして訂正いたします。

編集後記



設置された意見箱

広がる海も山々も澄み切った青空に映える季節となつてきましたね。

議会広報も刷新して2号目となり、この号より愛称も決まり、今後益々の紙面の充実と読みやすさにこだわつて編集していきたいと思います。

また「日向市未来を拓く子ども議会」が8月22日に行われ、凛とした中学生の素晴らしい提案などを聞き、これからを担っていく世代への期待に胸が高鳴りました。

日向の“未来”が見える
議会傍聴にお越しください

12月定例会は11月25日（金）開会予定です